

## 農薬を使わず安全に樹木を保護しませんか？

### セルコートアグリ・シーテン(特許製品)

#### 提案

- ・街路樹や公園緑地の花木類等の管理のため市街地におかれても農薬を使用されている方々もいらっしゃると思います。
- ・しかしながら、皆様もご存じのように、周辺住民等の第三者が飛散した農薬を吸引した場合に健康に悪影響を及ぼす可能性があります。
- ・すでに、一部の自治体におかれましては農薬を使用せずに安全に樹木の保護を行っております。そして、農薬を使用せず安全に樹木を保護することを可能にした商品が当社が案内させて頂きますセルコートアグリ・シーテンになります。

#### 概要

- ・セルコートアグリは、セルローズが主成分の特殊肥料葉面散布剤として届出をしております。および安全な方法で樹木等の保護を行うことが可能です。
- ・この主成分のセルローズは医薬品や食品に使用されているもので、人にも動物(犬・猫・魚等)植物自身にも無害で、化学物質過敏症の方にも安全に使用して頂くことができます。

#### 散布による効果

- ・害虫の発生した樹木にセルコートアグリを散布すると、害虫の体のまわりに薄い膜ができて、羽のある害虫は羽根が付着し飛べなくなる、または他の害虫も呼吸を妨げる等の効果が期待できます。
- ・害虫の卵が発生した樹木に散布すると、卵が被膜され幼虫になることを防ぐ効果が期待できます。
- ・葉に散布すると、被膜された葉は害虫の食害を受けにくい状態になります。
- ・葉に付着する病原菌についても、被膜された葉によって病原菌が水分を補給することができなくなり繁殖できなくなる効果が期待できます。その際、シーテンを併用すると、葉や害虫の表面にセルコートアグリが付着しやすくなりますので併用をお勧めいたします。(シーテンは食品添加物として使用している乳化剤で安全です。)



(1) 散布する前



(2) 散布 1 分後



(3) 散布 3 分後

#### 散布時期

- ・新芽が出そろった時期や、害虫が発生した時に散布します。また予防として予め散布しておくとも病害虫に侵されません。
- ・新芽が出始めの散布は、葉の入れ替わる時期まで、葉に膜が付着した状態を保つため、年1回の散布でも効果が期待できます。
- ・カイガラムシは冬季(12月~2月)にマシン油や硫黄合剤の代わりに散布すると効果があります。

## 散布要領

- ・セルコートアグリ原液を15～25倍の水で希釈しシーテンを0.1%入れます。
- ・50～60ミクロンのノズルを使用し細霧状にして葉面に散布します。
- ・散布量は、高さ3m枝針1.5mの樹木で約2.5ℓ程度が必要になります。
- ・低木（1m位）には1㎡当り0.5～1ℓ位にして葉の表裏に希釈液が少し落ちる程度に散布します。
- ・ダニ・アブラムシにのみ散布の場合は、シーテンを1000倍に希釈して散布します。（シーテンは害虫表面の気門を塞ぎ呼吸をできなくする効果があります。）
- ・セルコートアグリは、耐久性が強く乾くと雨で膜が溶けて流れることはありません。持続性があります。

## 散布時の注意点

- ・多量散布を行うとセルコートアグリの乾きが遅くなり、害虫が動いた場合に膜が取れてしまう場合があるため、被膜効果が期待できなくなります。葉から希釈液が少し落ちる程度が適量です。
- ・農薬時よりも細かい霧状にノズル調整したものを使用することで効果的な散布を行うことが可能です。
- ・雨天は被膜ができなくなります。風が強い日は散布液が均一に葉に散布できないので散布は避けてください。
- ・セルコートアグリを予防で使用する場合、散布回数が多くても植物の呼吸や光合成に影響はありません。

## 商品の注意点

- ・セルコートアグリは、農薬ではなく、樹木等の保護を目的とした商品です。
- そのため、農薬のように劇的に害虫対策をとれる商品ではありませんが、正しい散布要領を行うことで農薬のように危険を伴わず、樹木を保護するとともに、害虫対策が期待できる商品となっております。

## 使用場所

- ・公園樹木・街路樹・一般家庭樹木・ビル屋上の樹木・植物・花卉類に実績があります。